

マーケットの動き（2023年10月30日～11月3日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で下落（円高）しました。

31日の日銀金融政策決定会合において金融政策正常化に対する姿勢が想定よりも積極的でないと思われたほか、10月の為替介入実績はゼロだったことが判明すると円は売られ、米ドルは一時151円台半ばまで上昇しました。1日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）通過後、米国金利低下による日米金利差の縮小観測などを受け、米ドルは149円台前半まで下落しました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2023年10月）

円に対して米ドルは強含み、ユーロはレンジ内での動き

米ドル：米国における景気の底堅さを背景とした長期金利の高止まりを受けて、米ドルは円に対して強含むとみています。ただし、為替レートの水準と動向次第で日本政府・日銀による円買い介入が警戒される場面では、米ドルの円に対する上値は次第に重くなるとみています。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）が利上げを一旦休止するとみられ、ユーロは円に対してレンジ内での動きになるとみています。日本政府・日銀による円買い介入が警戒される場面では、ユーロは円に対して下押す可能性があります。

	11月3日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	149.36	▲0.25	0.29	14.22	1.16
ユーロ/円	160.31	2.04	4.16	10.95	15.70

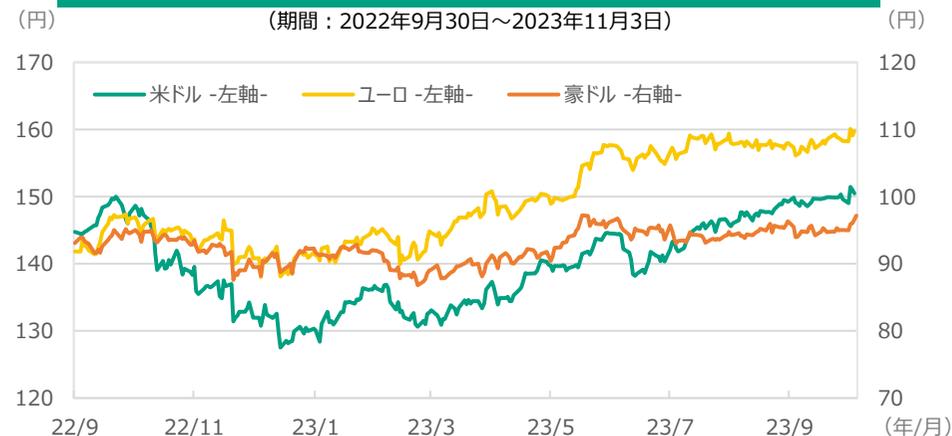
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202310_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成